

知多に始まる近代絵画 パートⅧ
愛美社結成100年



大澤鉦一郎と 「愛美社」の画家たち展

2017年10月11日[水] - 10月17日[火] 午前10時-午後5時 10月16日[月]休館

ゆめたらうプラザ(武豊町民会館) [ギャラリー・入場無料]

主催: 武豊町「文化芸術による創造のまち」支援事業実行委員会 共催: 武豊町教育委員会
協力: 株式会社 名古屋画廊、特定非営利活動法人 武豊文化創造協会



大澤鉦一郎《少女像》4号 1922年頃作



大澤鉦一郎《壺と果物》20号 1919年作



大澤鉦一郎《夏の風景》12号 1919年作

[オープニング・ギャラリートーク]

2017年10月11日[水] 午前10:30-11:00

田口貴久 [洋画家・名古屋芸術大学教授]、中山真一 [郷土美術愛好家]

会場=ゆめたらうプラザ [ギャラリー] ※事前申し込み不要、聴講無料。

愛美社 結成100年 — 大澤鉦一郎と「愛美社」の画家たち展

大澤鉦一郎は、1893年(明治26)名古屋市に生まれました。画家をめざして東京美術学校(現・東京藝術大学)を受験したものの不合格になり、東京高等工業学校工業図案科に入学。やがて肺をわずらったため同校を中退して帰郷します。そして1914年(大正3)21歳で現・知多市に転地療養し、治癒後も同地にとどまりました。

大正期は、個性や自我といったものが尊ばれた時代です。大澤は、ゴッホやセザンヌ、ミケランジェロに心酔したり、高村光太郎訳『ロダンの芸術観』を愛読。また、海外美術の紹介も豊富な文芸雑誌『白樺』などで巨匠画家の伝記を好んで読みました。おそらく、彼らの中に自身と似た気質を見てとっていたことでしょう。

絵画を独学するなか、大澤はよき時代の気風をたたえる自信に満ちた写実表現を追求していきました。1916年(大正5)23歳の作《母の像》は、現在では東京国立近代美術館に収蔵され、大正期の日本洋画を代表する一点として、多くの鑑賞者を魅了しつづけています。

そんな日々をすごしていると、翌1917年(大正6)岸田劉生ひきいる草土社が名古屋展を開催。会期3日間、大澤は会場へ毎日かよいます。多くの意欲的な若い画家たちがフォーヴィスム(野獣派)やキュビズム(立体派)の影響で制作する時代。「内なる美」を唱える二歳年上の劉生による迫真の写実画法に、自身のそれま

での写実表現に意を強くするとともに、すくなからぬ影響をうけています。

そこで大澤は、同じく現・知多市に在住していたまだ10代の宮脇晴や山田睦三郎らをさそい、「美を愛する」という意味をこめて洋画グループ「愛美社」を結成しました。2年後1919年(大正8)大澤ら若き同人たちは、「物象の内に在る力と輝きを感じるようになり、それを納得のゆくまで追求する、いわゆる『突込んで描く』事に専念した」という力作51点をもって名古屋で展覧会を開きます。以来1921年(大正10)の3回展をへて解散するまで、大澤ら同人8名は切磋琢磨しながら劉生らにまさるとも劣らぬ写実表現をなしとげました。

なお大澤は、1973年(昭和48)79歳で亡くなるまで知多市や常滑市に在住。中央では、戦後画壇のスタートをつける第1回日展(1946年)で特選の栄誉にかがやいたり、戦前からひきつづき春陽会展で活躍するなど、若き日の写実表現を生涯にわたって深化させてきました。また戦後は、高校(現・常滑高校、現・横須賀高校)などで美術教育者としても活躍し、知多半島を中心に多くのすぐれた教え子たちが育っています。

本展は、愛美社創立100周年を記念し、知多半島の地で画業が花ひらいた画家・大澤鉦一郎を中心に、やはり知多半島にすくなからぬ縁をもつ愛美社で活躍した画家たちの作品群を展覧いたします。どうぞごゆっくりご鑑賞ください。

略歴(年齢順・敬称略)

大澤 鉦一郎 [おおさわ せいいちろう]

1893名古屋市生。1914現・知多市に移住。17岸田劉生の影響で宮脇晴らと「愛美社」を結成。49春陽会会員。73逝去(79歳)。

鶴城 繁 [うじょう しげる]

1899石川県生(藤井と親戚)。1905名古屋市に転居。19~21愛美社展。24名古屋市で教員に。35春陽会入選。85逝去(86歳)。

山田 睦三郎 [やまだ むつさぶろう]

1901名古屋市生。19~21愛美社展。27大調和展入選。35春陽会初入選。42新文展入選。62南山大講師に。84逝去(83歳)。

森 馨之助 [もり けいのすけ]

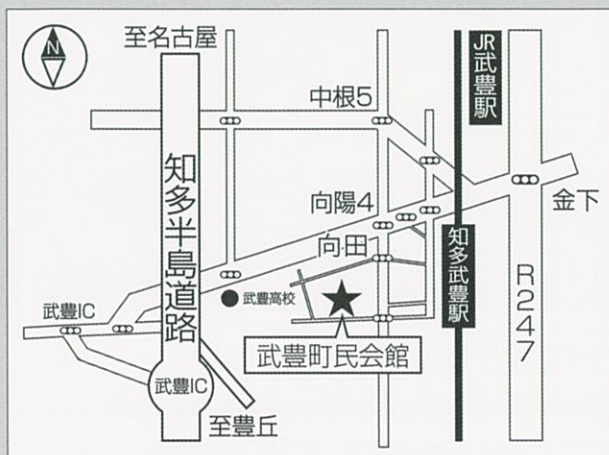
1898(現)一宮市生。1919上京、本郷洋画研究所で学ぶ。19~21愛美社展。21帝展入選。26一宮市で教員に。56逝去(58歳)。

藤井 外喜雄 [ふじい ときお]

1901石川県生(鶴城と親戚)。03名古屋に転居。18文展初入選。19~21愛美社展。21二科展初入選。23~29滞仏。94逝去(93歳)。

宮脇 晴 [みやわき はる]

1902名古屋市生。19~21愛美社展。20名古屋市立工芸学校卒、同校教員となる。43文展特選。48春陽会会員。85逝去(82歳)。



〒470-2555

愛知県知多郡武豊町字大門田11

武豊町民会館 ゆめたろうプラザ

TEL 0569-74-1211 FAX 0569-74-1227

■交通アクセス

名鉄河和線 知多武豊駅より徒歩20分

JR武豊線 武豊駅より徒歩25分

知多半島道路 武豊I.C.より車で5分

